



株式会社 鶴見製作所

証券コード：6351

第 61 期  
報告書

平成23年4月1日

平成24年3月31日

C O N T E N T S

P1	トップメッセージ	P6	財務諸表
P2	財務ハイライト	P7	会社概要
P3	部門別の概況	P8	株式の状況
P4	トピックス	P9	製品紹介
P5	連結財務諸表		

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り有難く厚くお礼申しあげます。

さて、ここに第61期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災と原子力発電所の事故の影響により、国内景気は急速に悪化しましたが、震災後の復興需要や新興国の経済発展に伴う輸出の増加に牽引され、企業業績は改善し、個人消費も低水準ながらも持ち直しの動きが見られるなど景気回復の兆しは見られました。

しかしながら雇用情勢は依然厳しく、デフレ傾向が継続する中で、長期にわたる円高や電力供給の制約、タイでの洪水被害などの影響もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

また、海外経済におきましては、アジアを中心として回復基調にはあるものの、欧州の政府債務危機を背景として全体的にその回復テンポは緩やかなものとなりました。

このような状況の中で当社グループは、中期3ヶ年経営計画「Revolution2012」の最終年度を有終の美で飾るべく、各部門が背水の陣で強固な活動を推進し、業績の向上に努めました。

国内部門では、主力市場のひとつである建設機械市場分野のリースレンタル業界において、東日本大震災の復旧・復興関連工事や数年に及ぶ厳しい環境下での機械、機材の買い控えの反動による入替需要等により建設機械市場向け商品の売上は増加しました。

設備機器市場においては、工具工場設備、浄化槽関連、管材関係やセットメーカー市場等での売上が堅調に推移しましたが、公共工事関連及び水処理プラント市場においては、予算削減の影響もあり、売上は低調に推移しました。

海外部門では、北米市場における鉱山市場やレンタル市場等での売上が大きく伸長し、また、アジア地域においては、公共インフラ整備への投資拡大に伴い、建設機械市場向けの販売が好調に推移しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、322億2百万円と前連結会計年度比7.8%の増収、営業利益は、24億69百万円と前連結会計年度比

7.1%の増益、経常利益は、28億19百万円と前連結会計年度比19.9%の増益、当期純利益は、17億33百万円と前連結会計年度比23.6%の増益となりました。

なお、当期末の配当金につきましては、普通株式1株につき8円とさせていただきます。これにより、中間配当金（1株につき8円）を含めました当事業年度の年間配当金は1株につき16円となります。

今後の経済見通しにつきましては、政府の公共投資補正予算など震災復興需要に支えられ、緩やかな回復基調で推移するものと期待されますが、欧州の政府債務危機や原油価格の高騰などの影響による海外景気のさらなる減速、円高の進行や電力供給の制約など、まだまだ予断を許さない厳しい経営環境が続くものと思われまます。

当社グループにおきましては、被災地の一日も早い復興に向け、できる限りの協力、支援を行ってまいりますと共に、新中期3ヶ年経営計画「Acceleration 2015」のもと、従来のグローバル戦略の加速度的な発展を通じ、世界市場のポジションを狙うことを目標として、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



平成24年6月

代表取締役社長

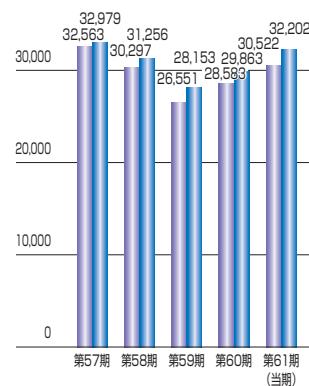
辻 徹

	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期
	平成20年3月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月
<b>連結経営成績</b>					
売上高(百万円)	32,979	31,256	28,153	29,863	32,202
営業利益(百万円)	3,136	2,074	1,975	2,304	2,469
経常利益(百万円)	2,898	2,325	2,276	2,351	2,819
当期純利益(百万円)	1,724	1,278	1,345	1,402	1,733
<b>連結財務状態</b>					
総資産(百万円)	49,672	44,309	43,578	45,303	47,490
純資産(百万円)	34,638	33,727	34,700	35,772	37,131
<b>1株当たり数値</b>					
当期純利益(円)	64.35	49.18	53.21	55.98	69.18
純資産(円)	1,304.76	1,325.51	1,383.84	1,426.92	1,481.26

■ 単体 ■ 連結

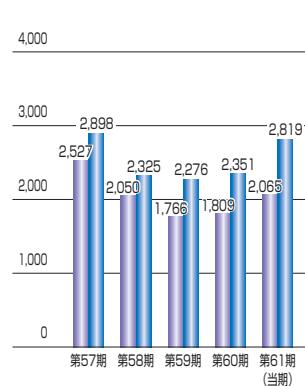
### ●売上高

40,000 (単位: 百万円)



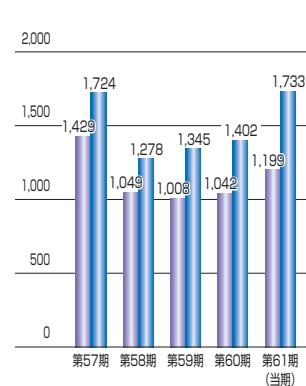
### ●経常利益

5,000 (単位: 百万円)



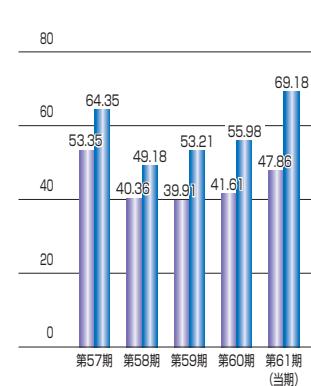
### ●当期純利益

2,500 (単位: 百万円)



### ●1株当たり当期純利益

100 (単位: 円)



## 国内部門

国内部門につきましては、主力市場のひとつである建設機械市場分野のリースレンタル業界において、東日本大震災の復旧・復興関連工事や数年に及ぶ厳しい環境下での機械、機材の買い控えの反動による入替需要があり、節電、省エネタイプの工事用自動型水中ポンプ及び高圧洗浄機が、また、液状化対策として基礎工事向け水中ポンプが順調に推移し、建設機械市場向け商品の売上は増加しました。

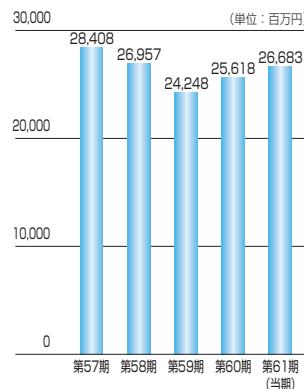
設備機器市場においては、工具工場設備、浄化槽関連、管材関係やセットメーカー市場での汎用水中ポンプが堅調に推移しました。

また、電力、化学工場などにおいて安全対策の見直し等が実施され、真空設備関連機器、特殊水中ポンプも同様に堅調に推移しました。

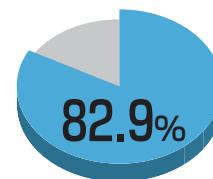
しかしながら、公共工事関連向け中・大型水中ポンプの案件及び水処理プラント市場においては、予算削減の影響もあり、売上は低調に推移しました。

これらの結果、売上高は、266億83百万円と前連結会計年度比4.2%の増収となりました。

## ●売上高



## ●売上高構成比



売上高  
26,683 百万円

## 海外部門

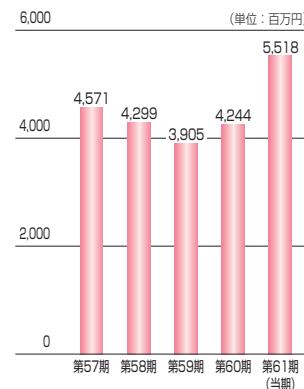
海外部門につきましては、北米市場においては、引き続き鉱物資源の世界的な需要の拡大により鉱山市場向けの大型水中ポンプやレンタル市場における小・中型水中ポンプの販売が好調に推移しました。

また、建設機械市場及び設備機器市場においても景気の回復に伴い、売上が大きく伸長しました。

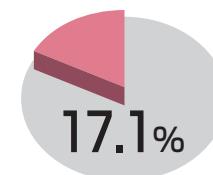
アジア地域においては、水処理や地下鉄等の公共インフラ整備への投資拡大に伴い、建設機械市場向けの小・中型水中ポンプの販売が好調に推移しました。

これらの結果、売上高は、55億18百万円と前連結会計年度比30.0%の増収となりました。

## ●売上高



## ●売上高構成比



売上高  
5,518 百万円

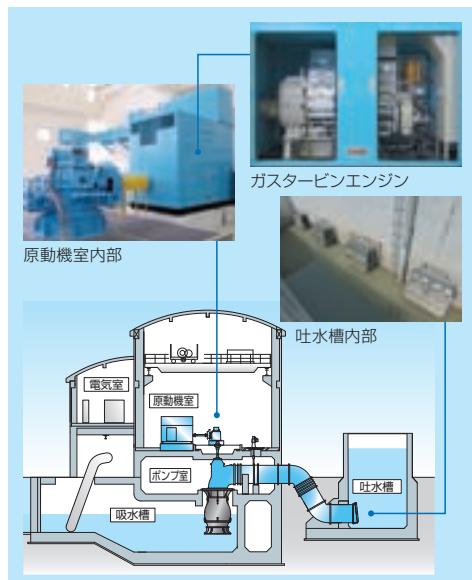
## 納入事例

## ポンプシステム部

## 排水機場の主ポンプ設備として

長野市殿 柳原排水機場へ内水排除用ポンプとして、立軸斜流ポンプ1800PSV型を納入させていただきました。柳原排水機場は千曲川沿いに位置します。大雨の影響で本川である千曲川の水位が上昇すると、その水が堤内地側の水路へと逆流し、通常行われている排水が困難となります。水が溢れ堤内に留まり宅地や農地への被害をもたらさないように、強制的に千曲川へ水を排水する役割を担っています。

当排水機場ではすでに3基の主ポンプが設置されていますが、近年増加している局地的豪雨や柳原地区で工事していた排水路完成に伴い排水機場への負担が増えたため、4基目の主ポンプとしてツルミ立軸斜流ポンプPSV型をご採用いただきました。



## ポンプシステム部

## 主要納入機器仕様

## ①主ポンプ

型 式：1800PSV  
形 式：立軸斜流ポンプ  
(2床式構造)  
口 径：1800mm  
全 揚 程：4.3m  
吐出し量：420m<sup>3</sup>/min  
(7m<sup>3</sup>/sec)

## ②原動機

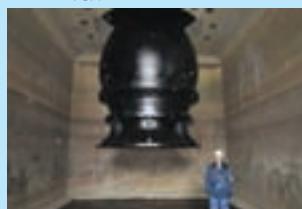
ガスタービンエンジン  
形 式：開放式横軸2軸  
ガスタービン  
(ボンネット型)  
出 力：420kW  
冷却方式：空冷方式

## ③歯車減速機

形 式：直交軸傘歯車  
減速機  
(多板クラッチ内蔵)



ポンプ室内部



吸水槽内部



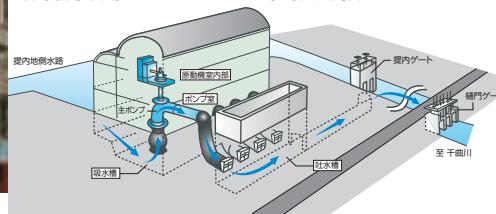
当社米子工場での組立状況



柳原排水機場



原動機室内部



堤内地側水路



樋門ゲート(千曲川側)

●連結貸借対照表の要旨

科 目	(単位:百万円)	
	前 期 (平成23年3月31日現在)	当 期 (平成24年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	24,416	24,265
<b>固定資産</b>	20,887	23,224
有形固定資産	10,710	11,446
無形固定資産	482	780
投資その他の資産	9,693	10,997
<b>資産合計</b>	45,303	47,490
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	7,246	8,076
<b>固定負債</b>	2,284	2,283
<b>負債合計</b>	9,530	10,359
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	36,482	37,813
資本金	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,896
利益剰余金	25,785	27,117
自己株式	△ 2,388	△ 2,389
<b>その他の包括利益累計額</b>	△ 733	△ 706
その他有価証券評価差額金	△ 37	40
繰延ヘッジ損益	5	4
為替換算調整勘定	△ 701	△ 750
<b>少数株主持分</b>	23	24
<b>純資産合計</b>	35,772	37,131
<b>負債純資産合計</b>	45,303	47,490

●連結損益計算書の要旨

科 目	(単位:百万円)	
	前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	当 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	29,863	32,202
売上原価	20,767	22,679
売上総利益	9,095	9,522
販売費及び一般管理費	6,791	7,053
<b>営業利益</b>	<b>2,304</b>	<b>2,469</b>
営業外収益	455	491
営業外費用	409	141
<b>経常利益</b>	<b>2,351</b>	<b>2,819</b>
<b>特別利益</b>	<b>—</b>	<b>83</b>
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>2,351</b>	<b>2,903</b>
法人税、住民税及び事業税	915	1,270
法人税等調整額	32	△ 102
少数株主損益調整前当期純利益	1,402	1,734
少数株主利益	0	1
<b>当期純利益</b>	<b>1,402</b>	<b>1,733</b>

●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科 目	(単位:百万円)	
	前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	当 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,242</b>	<b>1,562</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>177</b>	<b>△ 2,070</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 903</b>	<b>△ 402</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 109</b>	<b>△ 40</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>1,407</b>	<b>△ 950</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>3,330</b>	<b>4,738</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>4,738</b>	<b>3,787</b>

## ●貸借対照表の要旨

科 目	(単位:百万円)	
	前 期 (平成23年3月31日現在)	当 期 (平成24年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	21,706	21,200
<b>固定資産</b>	20,946	23,059
有形固定資産	9,931	10,016
無形固定資産	124	480
投資その他の資産	10,890	12,561
<b>資産合計</b>	42,652	44,260
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	6,936	7,683
<b>固定負債</b>	2,159	2,172
<b>負債合計</b>	9,095	9,855
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	33,549	34,345
資本金	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,896
利益剰余金	22,852	23,650
自己株式	△ 2,388	△ 2,389
<b>評価・換算差額等</b>	7	58
その他有価証券評価差額金	1	54
繰延ヘッジ損益	5	4
<b>純資産合計</b>	33,557	34,404
<b>負債純資産合計</b>	42,652	44,260

## ●損益計算書の要旨

科 目	(単位:百万円)	
	前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	当 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	28,583	30,522
売上原価	20,832	22,573
売上総利益	7,750	7,949
販売費及び一般管理費	5,965	6,138
<b>営業利益</b>	1,785	1,810
営業外収益	408	388
営業外費用	384	134
<b>経常利益</b>	1,809	2,065
<b>特別利益</b>	—	83
<b>税引前当期純利益</b>	1,809	2,148
法人税、住民税及び事業税	749	1,039
法人税等調整額	17	△ 89
<b>当期純利益</b>	1,042	1,199

ホームページのご案内

<http://www.tsurumipump.co.jp/>

会社案内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

商号  株式会社 鶴見製作所  
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

創業 大正13年(1924年)1月5日  
設立 昭和23年(1948年)2月12日  
資本金 51億88百万円  
従業員 880名(グループ計)  
(注)従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

### ●主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造、仕入及び販売(輸出入を含む)並びに賃貸を行っており、それに附帯する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

### ●役員

代表取締役社長	辻本 治
取締役専務執行役員	廣田 正章
取締役常務執行役員	有本 高明
取締役常務執行役員	加茂田 優
取締役常務執行役員	芝上 英二
取締役執行役員	中西 寛
取締役執行役員	片桐 健二
取締役執行役員	高井 優
取締役執行役員	田中 静夫
取締役執行役員	野田 勝
執行役員	窪 泰人
執行役員	千石 典昭
常勤監査役	駒澤 賢二
監査役	掛川 雅仁
監査役	鹿内 茂行

(注)監査役掛川雅仁氏及び鹿内茂行氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

### ●主要な営業所及び工場

大阪本店 ☎538-8585 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号  
☎(06)6911-2351(代)

東京本社 ☎110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号  
☎(03)3833-9765(代)

京都工場 ☎614-8163 京都府八幡市上奈良長池1番1号  
☎(075)971-0831

米子工場 ☎683-0851 鳥取県米子市夜見町2700番地  
☎(0859)29-0811

北海道支店 ☎065-0020 札幌市東区北20条東17丁目1番5号  
☎(011)787-8385

東北支店 ☎984-0042 仙台市若林区大和町4丁目9番11号  
☎(022)284-4107

東京支店 ☎110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号  
☎(03)3833-0331

北関東支店 ☎370-0046 群馬県高崎市江木町1716番地1  
☎(027)310-1122

北陸支店 ☎920-0059 石川県金沢市示野町西8番地  
☎(076)268-2761

中部支店 ☎453-0853 名古屋市中村区牛田通2丁目19番地  
☎(052)481-8181

近畿支店 ☎538-0054 大阪市鶴見区緑2丁目1番28号  
☎(06)6911-2311

中国支店 ☎731-5132 広島市佐伯区吉見園1番21号  
☎(082)923-5171

四国支店 ☎761-8075 香川県高松市多肥下町1554番地28  
☎(087)815-3535

九州支店 ☎812-0004 福岡市博多区榎田2丁目9番地30号  
☎(092)452-5001

#### 営業所

札幌・旭川・仙台・青森・郡山・盛岡・山形・秋田・高崎・宇都宮・長野・新潟・東京第一・東京第二・千葉・横浜・大宮・名古屋第一・名古屋第二・静岡・岐阜・沼津・金沢・富山・福井・大阪第一・大阪第二・京都・滋賀・阪奈・和歌山・神戸・姫路・北近畿・広島・岡山・山口・米子・高松・松山・福岡・熊本・鹿児島・大分・宮崎・沖縄

### ●子会社及び関連会社

株式会社ツルミテクノロジーサービス ☎06-6911-1351  
☎538-0053 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番43号

H&E TSURUMI PUMP CO.,LTD. ☎852-2730-7208  
Unit 2503-5,25/F, Ocean Building, 80 Shanghai Street, Kowloon, Hong Kong

TSURUMI(SINGAPORE)PTE.LTD. ☎65-6760-8338  
48 Toh Guan Road East, #01-138, Enterprise Hub, Singapore 608586

TSURUMI(AMERICA),INC. ☎1-630-793-0127  
1625 Fullerton Court, Glendale Heights, Illinois 60139, U.S.A.

TSURUMI PUMP TAIWAN CO.,LTD. ☎886-3-368-9830  
中華民国台湾省桃園縣八德市豊田街68號

SHANGHAI TSURUMI PUMP CO.,LTD. ☎86-21-6710-7612  
中華人民共和国上海市工業綜合開發区航詔路386号

TSURUMI(SHANGHAI)CO.,LTD. ☎86-21-6432-6010  
中華人民共和国上海市徐匯区漕寶路80号 上海光大会展中心D座1201室

TSURUMI PUMP KOREA CO.,LTD. ☎82-2-701-6356  
大韓民国ソウル特別市麻浦区孔徳洞404 プリンオビスタル728

TSURUMI PUMP(THAILAND)CO.,LTD. ☎66-2-294-1023  
662/37 Rama 3 Road, Bangpongpan, Yannawa, Bangkok 10120, Thailand

TSURUMI PUMP(M)SDN. BHD. ☎60-3-7803-3373  
No.11Jalan PIJ3/49,Sunway Damansara Technology Park, 47810 Petaling Jaya,Selangor Darul Ehsan,Malaysia

TSURUMI VACUUM ENGINEERING(SHANGHAI)CO.,LTD. ☎86-21-5724-2030  
中華人民共和国上海市金山区金山嘴工業区衛清東路2000号

SHANDONG TSURUMI HONGQI ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY CO.,LTD. ☎86-536-2968068  
中華人民共和国山東省濰坊濱海經濟技術開發区海惠路29号

HANGZHOU CNP-TSURUMI PUMP CO.,LTD. ☎86-571-88517209  
中華人民共和国浙江省杭州市余杭区徑山鎮小古城村

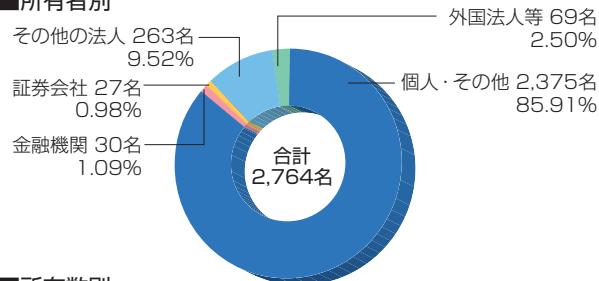
- 発行可能株式総数 100,000,000株
- 発行済株式の総数 27,829,486株
- 株主数 2,764名
- 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社ツルミ興産	1,940	7.74
ツルミ共栄会	1,502	6.00
株式会社三井住友銀行	1,242	4.96
株式会社三菱東京UFJ銀行	700	2.80
鶴見製作所社員持株会	666	2.66
デンヨー株式会社	648	2.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	606	2.42
株式会社有伸興産	518	2.07
THE BANK OF NEW YORK-JASDECTREATY ACCOUNT	474	1.89
住友信託銀行株式会社	465	1.86

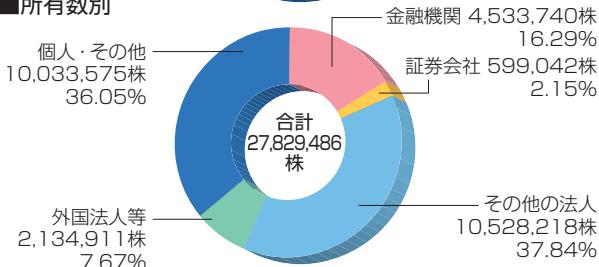
(注) 当社は自己株式2,778千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除外して計算しております。

## ●株式の状況

### ■所有者別



### ■所有数別



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
 証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417

(インターネットホームページURL) <http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 当社のホームページに掲載します。  
<http://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html>

上場取引所 東京証券取引所市場第一部  
 大阪証券取引所市場第一部

# ツルミ電極式自動運転 ポンプシリーズ

この電極がNETISの証し！  
進化し続けるツルミ。

**NETIS**  
新技術情報提供システム

電極式自動運転ポンプはNETIS<sup>※</sup>登録商品です。(NETIS登録番号：No.CG-110036-A)  
※New Technology Information System=公共事業等における新技術活用を促す国土交通省の新技術情報提供システムです。

高性能水中樹脂ポンプ

# VANCS

0.15~3.7<sub>kW</sub>のフルラインナップ

公共建築協会も認めた評価品！

樹脂ポンプの先駆け、進化し続けるツルミ。

※PU(T)・PN型は(社)公共建築協会殿の「水中モーターポンプ」評価品です。

## 工事排水用 水中ハイスピンポンプ

### LBA型



吐出し口径：40・50mm  
出力：0.25・0.48kW  
全揚程：6・8m  
吐出し量：0.1・0.12m<sup>3</sup>/min

### HSE型



吐出し口径：50mm  
出力：0.4kW  
全揚程：8m  
吐出し量：0.1m<sup>3</sup>/min

### KTVE型



吐出し口径：50～100mm  
出力：0.75～5.5kW  
全揚程：10～22m  
吐出し量：0.18～0.6m<sup>3</sup>/min

## 水中泥水ポンプ

### HSDE型



吐出し口径：50mm  
出力：0.55kW  
全揚程：9m  
吐出し量：0.1m<sup>3</sup>/min

## 低水位排水用 水中ハイスピンポンプ

### LSCE型



吐出し口径：25mm  
出力：0.48kW  
最高排出揚程：11m(50Hz)  
12m(60Hz)

### LSRE型



吐出し口径：50mm  
出力：0.48kW  
全揚程：8m  
吐出し量：0.12m<sup>3</sup>/min

## 残水吸排水用 スイープポンプ

### LSPE型



吸込×吐出し口径：25×25mm  
出力：0.48kW  
最大吐出し揚程：8m(50Hz)  
9m(60Hz)  
最大吐出し水量：0.06m<sup>3</sup>/min

## 汚物用 水中ハイスピンポンプ

### PU型



異物通過径70%以上を確保\*

吐出し口径：40～80mm  
出力：0.15～3.7kW  
※2.2kW以上を除く

### PUT型



吐出し口径：80mm  
出力：2.2・3.7kW

## 雑排水用 水中ハイスピンポンプ

### PN型



吐出し口径：32～80mm  
出力：0.15～3.7kW

## 汚水用 水中ポンプ(高揚程仕様)

### PSF型



吐出し口径：40～65mm  
出力：0.25～3.7kW

## 流量調整用 水中ポンプ

### PUL型



吐出し口径：50mm  
出力：0.15kW

## 化学汚水用 水中チタンポンプ

### TQ型



吐出し口径：50mm  
出力：0.4・0.75kW

## 雑排水用 水中横型ハイスピンポンプ

### PLS型



吐出し口径：50mm  
出力：0.25・0.4kW

## 海水用 水中横型チタンポンプ

### TMLS型



吐出し口径：50mm  
出力：0.25・0.4kW

## 海水用 水中チタンポンプ

### TM型



吐出し口径：40～80mm  
出力：0.25～3.7kW

.....

## Amenics (アメニクス) とは、

Amenity (快適) と工学を表す接尾語 -ics を  
合体させた、ツルミのオリジナルキーワードです。

.....

人に気持ちよく、都市に心地いい、  
地球にやさしい技術の提唱を宣言したものです。

## Amenics の4つのコンセプト

快適な暮らしを形にする  
**Base Amenics**

快適な作業環境をつくる  
**Work Amenics**

ツルミ発、人と地球への 快適工学  
**Amenics**

地球を守る  
**Earth Amenics**

水と人とのふれあいを創造する  
**Water Amenics**



キャラクター  
アメニ君



地球環境保護のために植物油インキを使用しています。